

名松線廃止反対シリーズ 2

JR東海は、名松線一部を廃止し バス輸送に転換すると説明

2009年10月29日、突如JR東海は、「名松線の今後の輸送体制」という知らせを発表しました。これは、台風によって被害を受けた名松線の家城駅・伊勢奥津駅間を廃止しバス輸送に転換するというものです。この発表に対し自治体は名松線の復旧や存続を求め、署名活動や要望を行っています。

11月4日 津市松田市長は、

「美杉地位にも市全体の活性化にも欠かせない交通機関であり、全線復旧を望む。」として、

JR東海本社と中部運輸局に全面復旧を求める要望書を提出

10月30日 美杉村の自治会は、

「名松線は地域住民の生活の足で、何としても伊勢奥津まで列車を走らせてほしい。」として、

JR東海三重支店に存続を求める要望書を提出

11月9日 三重県野呂知事は、

「地元は存続を強く求めている。県にとっても唐突な話であり残念。元の状態に戻すことがもっとも望ましい。」として、
国へ復旧を提言・要望することを表明

津市の商工会議所会長、PTA会長、自治会連合会会長、支部会長老人クラブ連合会会長は「名松線の全線早期復旧を求める要望書」の署名を取り組んでいます。

会社は、関係自治体への理解を求めていると言っていますが、
自治体は名松線全線存続を望んでいます。